大道会グループのコミュニケーション情報誌

Live30

［ライブ・サーティー］

http://www.omichikai.or.jp

VOL. 221

2017年
3月-4月

CLOSE UP

「地域とともに10周年　これからも地域とともに」の想いを込めて地域住民向け健康支援イベントを開催

森之宮病院開院10周年記念イベント　オープンホスピタル開催報告

OMICHI ACADEMY

第46回北米神経科学学会
医師事務作業補助者指導者養成講習会
第40回 日本高次脳機能障害学会学術集会

OMICHI SCRAMBLE

第5回「家族の集い」を開催
新人職員・2年目フォローアップ研修を開催

INFORMATION

医師向け最新医学・医療情報サイトm3.comが森之宮病院循環器内科の川﨑部長の記事を掲載
第10回森之宮病院登録医総会

The Prize for Best Healthcare Infomagazine
最優秀賞
★2002★
最優秀賞
「Live30」
貴社は第2回BHI賞において
最も優秀であったことを認め、
BHIマークを贈ります
日本HI研究会

CLOSE UP

平成28年12月18日、森之宮病院は開院10周年記念イベント「オープンホスピタル」を開催しました。今回はその目的やイベント内容をご紹介します。

「地域とともに10周年 これからも地域とともに」の想いを込めて地域住民向け健康支援イベントを開催

森之宮病院開院10周年記念イベント　オープンホスピタル開催報告

地域の皆さん、関係機関の皆さんのご支援のおかげで10周年を迎えることができたことに感謝し、地域の健康や暮らしのサポートにつながることを願って企画しました。

社会医療法人大道会ならびに森之宮病院では、これまでにも数々の地域向け健康支援事業を行ってまいりました。森之宮病院では昨年、理念や基本方針を見直した際、「地域医療への貢献」「地域包括システムの構築」を基本方針として追加し、職員の進むべき道を明確にしました。2015年には森之宮地域でスマートエイジングシティの理念を踏まえたまちづくり協定を締結し、行政や地域住民、関係機関の皆さんと一緒に地域包括ケアシステムを構築する活動を加速させています。

今回のイベントも行政や地域の皆さんと相談し、地域住民・地域の三師会や関係機関・関連企業・行政等と一緒に開催しました。「食を通した健康寿命の延伸」「医療講演・病院紹介」「医療・介護体験」「予防・健康相談」で4つのブースを設け、26の催しを実施しました。

各ブースリーダーのコメント紹介

食を通した健康寿命の延伸

サテライト会場となった森之宮第2団地の集会所で、大阪府が推進する「食を通した健康寿命の延伸」をテーマに調理体験、高齢者でも安心なバランス食の試食会等を開催しました。参加者からは「また開催してほしい」の声をかけて頂く等、皆さんとお話しできた事を嬉しく思います。大阪府および協賛各社のご協力に感謝申し上げます。

（森之宮病院診療技術部兼画像診断科部長　田中貫志）

医療講演・病院紹介

森之宮病院を知って頂きたいと思い、医療講演・ポスター展示・ムービー紹介を企画しました。参加された方は予想以上に多く、皆さん熱心にご覧になっていました。地域の方々の健康や暮らしの支援に向け、我々にできることはたくさんあると感じました。今後も色々な情報を発信していきたいと思います。

（森之宮病院リハビリテーション部副部長　小室幸芳）

医療・介護体験

主にお子さんを対象に、看護師・薬剤師等の体験を通じて、将来の夢のきっかけにして頂きたいと思い企画しました。白衣姿のコスプレによる写真撮影や坂道を上がる車いす体験、歯磨き相談コーナー等で、興味津々に取り組んでいるお子さんの姿は、感慨深いものがありました。今後もこのようなチャンスがあれば、積極的に取り組んでいきたいと思います。

（森之宮病院看護部副部長　柴田まゆみ）

予防・健康相談

地域の医師会、歯科医師会、薬剤師会、地域包括支援センターや健康ラボステーション、東急スポーツオアシス等、様々な職種、企業の方々にご協力頂きました。地域の方々の健康支援を行

モデルルーム見学

医師会Drによる相談

大好評!!
辻調グループの料理教室

歯磨き体験

来場者の皆さんをそわそわお出迎えする職員達

いたいという共通の目的意識やパワーが感じられ、私自身も元気になりました。参加された方々もご自身の健康について目を向けるきっかけにして頂けたと感じています。

（森之宮病院診療部地域医療連携室課長　杉浦美保）

事務局

森之宮病院でこのような大イベントは初めての試みで、皆さんに楽しんで頂けるのか、不安と期待が入り混じった準備期間でした。スタッフがキャッチコピーを志として声を掛け合い助け合い、また多数の協賛企業のご協力により、当日は大きな成果を感じることができました。今回の感謝の気持ちを胸にこれからも地域支援活動に取り組みたいと思います。

（森之宮病院事務部課長　水谷理恵）

このイベントを通して、地域を大切にする森之宮病院の方針を多数の職員と共有できました。また、多くの職員が地域の方と一緒に健康支援を行う喜びを感じ、「地域の方と関わることができて良かった」という感想が寄せられたことは私達にとって嬉しい収穫でした。さらに、ご参加頂いた方々から「スタッフが笑顔で迎えてくれた」「病院を知るいい機会になった」「医療講演を聞いて頼もしく思った」「健康状態を知ることができた」「何でも相談できると思った」「医療を身近に感じた」等の嬉しい声を頂き、改めて地域包括ケアシステムにおける私達の役割を強く認識することができました。

来場された皆さんをはじめ、ご協力頂きました皆さんのおかげで無事に終了できましたことを、今回のイベントに携わった160名の職員を代表して心より感謝申し上げます。

これからも地域の皆さんと力を合わせて健康や暮らしを守る取り組みを継続することが何より大切だと考えています。今後ともご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。

（森之宮病院診療部医療社会事業課課長　藤井由記代）

催し物の内容		担当部署
オープニングセレモニー		職員有志
①	動かしてみよう！車椅子の試乗・介助体験！	リハビリテーション部
②	自助具体験	
③	ハミガキ体験	歯科診療部
④	歯科衛生士による相談コーナー	
⑤	あこがれの制服でなりきりコーデ	法人本部
⑥	紙アプリ水族館へようこそ	
⑦	森之宮病院を知ろう！	リハビリテーション部
⑧	体験！人命救助	看護部
⑨	退院までのあゆみ	医療社会事業課 介護老人保健施設 グリーンライフ 在宅事業部
⑩	手洗いチェック	看護部
⑪	画像診断検査説明	画像診断部
⑫	目指せ！地域のプチナース	看護部
⑬	Let's　調剤体験	薬剤科
⑭	健康・介護相談コーナー	地域医療連携室
⑮	よどまち・まちの保健室　骨密度測定	
	血管年齢測定	
	口コモチェック	
⑯	東急スポーツオアシス　膝痛予防体操	
	体組成測定	
⑰	人間ドックのご案内	帝国ホテルクリニック
⑱	姿勢・運動相談コーナー	リハビリテーション部
⑲	医療講演「怖い??乳がん」	乳腺・内分泌外科
⑳	医療講演「いつまでも元気な足で」	循環器内科
㉑	認知症サポーター養成講座	介護老人保健施設 グリーンライフ
㉒	病院紹介ムービー	法人本部
㉓	辻調グループの料理教室	栄養サービス科
㉔	山崎製パンの調理体験	
㉕	食べてみよう！高齢者にも安心・安全な食事	栄養サービス科 リハビリテーション部
㉖	モデルルーム見学・福祉用具体験 in 森之宮団地	リハビリテーション部 医療社会事業課 在宅事業部

人命救助体験劇

団地への広報活動隊

発表報告

第46回 北米神経科学学会

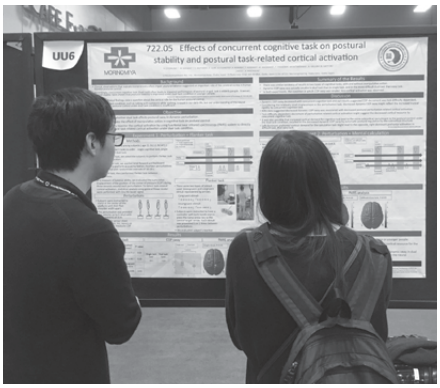
森之宮病院診療部
神経リハビリテーション研究部
乙宗 宏範

近赤外分光法を用いて二重課題時の運動課題関連大脳皮質血流を解析し、結果を発表

日程…平成28年11月12日～16日
場所…米国 サンディエゴ

今回、サンディエゴで開催されたNeuroscience 2016に河野悌司医師とともに参加しました。

サンディエゴはカリフォルニア州の南端に位置し、穏やかな気候からアメリカのfinest cityと言われています。実際、今回も晴天に恵まれ、まさに「澄み渡る青い空、爽やかな海風(と、しばしば表現されるようです)」の中で行われた学会でした。



私は国際学会で発表するのは初めてでしたが、この学会には世界80カ国以上から3万人以上が参加しており、その規模の大きさに圧倒されました。

発表した演題は「Effects of concurrent cognitive task on postural stability and postural task-related cortical activation」と「Structural changes associated with falls in Parkinson's disease」の2題で、いずれも姿勢やバランスをテーマとした研究ですが、後者は大学での研究ですので、前者についてご報告します。

昨今、スマホのながら歩きや、ながら運転が問題になっていますが、このような運動課題と認知課題を同時に行う二重課題において、脳の活動がどうなっているのか分かっていない部分が多くあります。特に、若年健常者では、バランス課題を行う際に、認知課題を負荷した方がバランス課題の成績が良くなるという一見矛盾した結果が過去に報告されています。そこで、今回我々は、若年健常者を対象に、近赤外分光法を用いて二重課題時の運動課題関連大脳皮質血流を解析しました。結果としては、バランス課題については過去の報告と同様、二重課題時は重心動揺が小さくなるという結果が得られました。大脳皮質の活動については、運動課題を単独で行うよりも、二重課題、特に難易度の高い二重課題を行う時のほうが、運動課題に関連した大脳皮質の活動は小さいという結果でした。このことは二重課題時の大脳深部、皮質下における、より自動的な姿勢制御の重要性を示唆しているのではと考えられましたが、様々な解釈ができる結果であり、会場でも多数の研究者から質問を頂き大変有意義な発表となりました。引き続き研究を進め、臨床につながるような知見を得ていきたいと考えています。

参加報告

医師事務作業補助者指導者養成講習会

森之宮病院診療部
医療クラーク科
吉川 慶子

科員全員のスキルを高め、院内のチーム医療に貢献できる医療クラーク科に

日程…平成28年10月15日・16日、11月12日・13日
場所…日本医科大学

今回の講習会は、医師事務作業補助者(以下、医師事務)の指導者として必要な知識と技術・マネジメントや業務連携、今後の展望について実践力を養うことを目的とし開催されました。講義は医師事務の現在の役割や、今後の医療体制がどのように変化していくかを踏まえ、医師事務も進化していく必要があるという内容でした。

グループディスカッションでは、自分達がどのような業務を担うべきか、これからの新しい医師事務に対し、どのように指導を行うかを他病院の方々と話し合いました。

医師事務は設立後9年と比較的新しい職種であり、他病院でも院内での認知度は低いようで、どのような職種であるかを理解されていない所もあるようです。医師事務ができる業務は大きく分けて、文書作成、登録統計業務、オーダー代行業務、資料作成があります。また、配置後半年以内に院内、もしくは院外で32時間の研修を行う必要がありますが、この研修にはマニュアルがありません。今後の課題として、今回の講習会に参加し、32時間の研修を院内で行うことを目標に現在、研修内容を構築しています。しかし、医療法規、医学知識、レセプト、DPC、メンタルヘルス、接遇等、色々な知識を広く持ち、それらを理解した上で指導者として業務を伝えていく困難さを改めて実感しています。

今回参加した講習会を生かし、自己のスキル向上と共に、32時間研修を円滑に行い、科員一人ひとりのスキル向上に努めたいと思います。さらに今後医療クラーク科がチーム医療に参加し貢献できるよう、組織内での周知を目指していきたいと思います。

発表報告

第40回 日本高次脳機能障害学会学術総会

森之宮病院
リハビリテーション部
作業療法科
清水 健

「基礎的認知行動アセスメント」の有用性について発表

日程…平成28年11月11日・12日
場所…長野県 キッセイ文化ホール

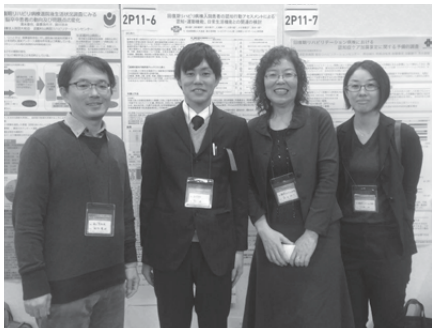
本学術総会は長野県松本市で開催されました。松本駅に到着すると目の前に槍ヶ岳等のアルプスの山々が広がり、空気がとてもおいしく、深呼吸をすることで、発表を控えて緊張している心を落ち着かせることができました。

日本高次脳機能障害学会は、以前は日本失語症学会という名称で、1977年失語症研究の中枢であった伊豆韮山カンファレンスを母体に設立されたものです。その為、本学術総会では、高次脳領域に関わる研究者、医師、看護師、心理士、療法士が日頃の研究や臨床、診察、治療の成果を発表するとともに最新の知識と情報を交換・発信する場所となっています。

私達は、森之宮病院の5階東病棟、7階西病棟の医師、看護師、心理士、療法士と協力して、鵜飼リハビリテーション病院言語聴覚士の森田秋子さんらにより開発された「基礎的認知行動アセスメント」についてFIMやMMSE等の一般的な評価項目との関連を調べ、その有用性について発表しました。高次脳機能評価の大半は机上課題を用いており、行動観察による評価は、評価者の経験や主観が評価に影響を与える可能性があり、一般的なものがありませんでした。私達の研究では、行動観察を用いた評価である「基礎的認知行動アセスメント」の結果が一般的な評価であるFIMやMMSEの結果と高い相関があることが分かりました。「基礎的認知行動アセスメント」を使用する事で既存の評価方法と同等の評価を行える事に加え、行動観察を通じてより様々な職種が高次脳機能評価を共有できる可能性を示すことができました。多職種が同じ基準で認知機能の評価を共有でき、FIMよりもより細かく認知や行動の異常の評価が可能であることから、リハビリ場面や日常生活における認知障害への介入や退院に向けたチームアプローチに有用であることも示しました。

このような当院の高次脳機能障害に対する取り組みは会場の多くの方の注目を集め、発表後、様々な職種の方々と直接議論を行うことができました。また、開発者の森田さんとも実際場面での使用に対する利点や問題点等を共有することができました。

今回の研究結果を臨床でも生かしつつさらなる発展につなげていきたいと考えています。



左から服部医師、清水科員（OT）、森田さん（ST）、伊藤さん（ST）

発表報告

第14回 日本乳癌学会近畿地方会

森之宮病院看護部
7階東病棟
山田 麗乃

「乳癌手術前後の不安や満足度調査を行って」をテーマに発表

日程…平成28年12月3日
場所…グランキューブ大阪

本学会は、近畿地方で乳がん治療に関わる医師、看護師、薬剤師、企業等、乳がん患者さんが抱える問題を包括的に検討するもので、地域全体の乳がん治療レベルの向上を目的としています。

私は、「乳癌手術前後の不安や満足度調査を行って」をテーマに演題発表をしました。

研究では、乳がん同時再建・二次的再建を含めた、広背筋・インプラント・エキスパンダー術の乳がん患者さん30人にアンケートを実施しました。主な質問項目は、再建術を受けるきっかけや看護師に教えてほしい事、入院中の関わりで希望されている事等で、調査結果としては、患者さんは手術や治療についてだけではなく、日常の細かい事で不安を膨らませていること、治療だけでなく、傾聴によっても多くの不安を取り除けることが分かりました。また、患者さんは整容に対する関心が高く、個々の趣味や仕事等を含めた日常生活に対する指導や関わりが重要であることが分かり、今後、個別性のある指導や関わりが課題として見えました。

また、学会では研究発表以外にも、日々外来で関わっているスヴェンソン（医療用ウィッグ製造・販売会社）や、京都ピンクリボン（乳がん啓発活動団体）の方々等の話を聞くこともできました。実際にウイッグを被らせて頂いて、頭が蒸れてしまうことや、ウイッグを被る時の気持ち、金額も高価で金銭的にも負担が多いこと等を改めて感じました。化学療法で高額な治療を受けるなかで、金銭面等にも気を配ることができるよう関わっていこうと思いました。

ボバース記念病院

クリスマス会を開催しました

平成28年12月24日、ボバース記念病院で入院患者さん向けのクリスマス会を開催しました。鶴見区・城東区を中心に活動するボランティア音楽グループ、「シャルール」の方々をお招きし、歌とサックスの演奏を披露して頂きました。「空港」や「津軽海峡冬景色」等の名曲があり、皆さん懐かしそうに聞き入っていました。「きよしこの夜」や「ジングルベル」のクリスマスソングは患者さん、スタッフを含めた全員で合唱し、会場はクリスマスの雰囲気に包まれました。

（ボバース記念病院事務部フロントサービス課　山田健太郎）

在宅事業部

第5回「家族の集い」を開催しました

平成28年11月30日、在宅事業部の各サービスを「利用されている」方のご家族、または、「利用されていた」方のご家族を対象に、今回で5回目となる「家族の集い」を開催しました。

今回は、「転倒・転落について」をテーマに看護師が講演を行い、関連する福祉用具の紹介も行いました。その後、所属のスタッフも加わって、参加者同士の交流会（トーク会）を行いました。

参加者は何らかの不安や悶々としたものを抱えながら、毎日懸命に介護されており、その体験や思いを活発にトークしていくことで、「私だけじゃなかった」と共感されていました。皆さん、一人で抱え込まれている状況の中、参加頂くことで、気持ちを少しでも整えることができたのではないかと思います。

今後も第6回、第7回と、少ない人数であっても、思いのはけ口の場となり、介護者の気持ちが楽になる場所としての「家族の集い」を地道に継続していくことが大切だと実感しました。

（訪問看護ステーションおおみち　中村恵子）

にぎやかで楽しい意見交換会となりました！

法人全体

新人職員・2年目フォローアップ研修を開催しました

大道会では、入職後6ヵ月が経過した新人職員と入職2年目の職員を対象に、半日のフォローアップ研修を実施しています。本年度は平成28年10月1日に新人職員フォローアップ研修、12月17日に2年目フォローアップ研修を森之宮病院ウッディホールにて開催しました。

研修前半では、管理部井山部長が「未来創造プロジェクト」について講義しました。「大道会流の地域包括ケアシステムの構築」と題し、脳性まひセンター構想・オレンジタウン創生プロジェクト等を解説しました。研修後半では、森之宮病院看護部正壽副部長と事務部下里主任が演習を行いました。

新人職員フォローアップ研修では、「わかりやすい報告と理論的な伝え方」をテーマに、今すぐ現場で使える報告方法や報告の組み立て方を学びました。2年目フォローアップ研修では、「課題解決の基礎」をテーマに、課題解決の為の発散から収束までの流れ、タイムマネジメントの重要性について学びました。

今回の研修で学んだ事を生かして、今後同期とともに力を合わせて自身を大きく伸ばしていってほしいと思います。

（本部管理部人事課　青木裕美）

グループワークでは、皆で意見をまとめ発表します

森之宮病院 登録医 紹介 24

きむら整形外科クリニック

木村 匡秀 医師

大阪市中央区森ノ宮中央2丁目
1-70 もりのみやキューズモール
BASE 2F　06-6940-4553
整形外科、リハビリテーション科

木村院長は、平成12年信州大学医学部卒業後、信州大学医学部整形外科学教室に入局。信州大学医学部附属病院、昭和伊南総合病院、甲府市立甲府病院等での勤務を経て、従来の保険診療のしばりにはとらわれず、患者さん一人ひとりの希望に合わせた診療をしたいという思いから、平成27年5月きむら整形外科クリニックを開院されました。

主に脊椎外科・スポーツ整形外科を含む整形外科全般・リハビリテーション科を専門に診療されていますが、外科的処置で早期に治るような疾患ではない腰痛や肩凝り等の“整形内科”的な疾患にも熱心に取り組まれており、超音波診断やエコーガイド下筋膜リリースも導入されています。

「早期に日常生活へ復帰できるような診療を目指しています。患者さんが治って良くなった時は嬉しいです。自費診療の治療も導入していく中で、今後、保険診療に承認される治療が多くなればと思っています」と話される木村院長。休日は、釣り・バイク等のアウトドアを楽しまれています。整形疾患以外の困り事も患者さんから相談されることが多いそうで、的確に患者さんのニーズをくみ取り、細やかな診療をされている印象を受けました。

（森之宮病院診療部地域医療連携室　藤野友理香）

森之宮病院 登録医 紹介 25

こいえ内科医院

鯉江 基哉 医師

大阪市中央区森ノ宮中央2丁目
1-70 もりのみやキューズモール
BASE 2F　06-4790-8177
内科、糖尿病内科

鯉江院長は、昭和63年京都大学工学部機械工学科卒業、平成3年京都大学大学院工学研究科修士課程修了後、3年間技術系企業に勤務されていました。

人に喜んでもらうことを実感しやすい仕事に就きたいという思いから医学部へ再入学。平成12年奈良県立医科大学医学部卒業後、天理よろづ相談所病院、市立堺病院、高槻赤十字病院、大阪府済生会野江病院総合内科副部長 兼 糖尿病・内分泌内科副部長を経て、平成27年10月こいえ内科医院を開設。もともと地域医療に関心があり、糖尿病の専門医として森ノ宮の地で開業されました。

「森之宮病院は森ノ宮の中核病院として頼りにしており、またいつもお世話になっています。当院では、診察に少し長めに時間をかけ、患者さんの話をしっかり聞いた上で治療方針を立てるように心がけています。慢性期疾患はなかなか完全には良くならないものなので、うまく病気と付き合いながら満足した生活を送れていると患者さんが喜んでおられる時が嬉しいです」と話される鯉江院長。

現在も済生会野江病院で非常勤医として週1回外来診療をされ、限られた休日にはお子様と過ごす時間を大切にされています。院内にはキッズスペースが完備されており、小さい子供をもつ患者さんに対しても細やかな心遣いを感じます。鯉江院長の温厚で優しい人柄と日々の診療に誠意を持って取り組んでおられる姿が印象的でした。

（森之宮病院診療部地域医療連携室　藤野友理香）

医師向け最新医学・医療情報サイトm3.comに森之宮病院循環器内科の川﨑部長が掲載されました

医師向け最新医学・医療情報サイト m3.comに森之宮病院循環器内科の川﨑部長が掲載され、同サイトの【EVT巧シリーズ】にて「長区間の閉塞を伴った浅大動脈病変に対する効率的なワイヤーの通過法」について、Web動画配信されました。この【EVT巧シリーズ】は、卓越した治療テクニックを持つエキスパートのインターベンション治療の実際を、治療画像を見ながら医師が解説するスペシャルコンテンツです。配信期間は2018年11月15日まで。ご興味のある方は、是非ご覧下さい。

第10回 森之宮病院登録医総会

1月28日(土)に帝国ホテル大阪におきまして登録医総会が行われました。今回が第10回目となり、大道理事長から『森之宮病院開院10年を振り返って』の講演をさせて頂きました。登録医の先生方も熱心に聞き入っておられましたが、私たち職員もこの10年の歩みを振り返ることができました。その後、森之宮病院各診療科の医師から、診療科の特徴や手術件数を報告し、また法人各施設の代表者が挨拶をしました。

懇親会は、年1回の同窓会のように和気藹々とした雰囲気で、毎年ご参加の先生方はもちろん今回初めてご参加の先生方ともいろいろなお話ができ、とても賑やかな会となりました。

森之宮病院が開院して10年、登録医の先生方と培った信頼関係をもとに、これからは法人全体で、地域の患者さんの為に、登録医の先生方と地域包括ケアに取り組んでいきたいと心を新たにしました。

(森之宮病院診療部地域医療連携室課長　杉浦美保)

ご寄付・ご寄贈を頂きました

糸山真澄様(城東区)よりご寄付・ご寄贈を頂きました。ありがとうございます。有意義に活用させて頂きます。

編集後記

寒さも過ぎ去り暖かい季節になってきました。この季節になるとまた新しい年が始まるなといつも感じます。昨年度は忙しくてできなかった事もありました。今年は心機一転、新しい事に挑戦していきたいと思います。

(森之宮病院リハビリテーション部理学療法科　東健太)

Live30【ライブ・サーティー】
2017年3-4月号
vol.221〈隔月発行〉

編集発行人／社会医療法人大道会
〒536-0023 大阪市城東区東中浜1-5-1
TEL.06(6962)9621
FAX.06(6963)2233

●本法人の経営理念
1. 社会から信頼される病院・施設づくり
2. 安定した経営基盤の確立
3. 職員の福祉向上と人材育成

●職員行動モットー
親切丁寧に（受診者・お客様・ご利用者）
待たさない／よく説明する／連携する

■社会医療法人大道会

社会医療法人大道会本部
☎06(6962)9621
森之宮病院
☎06(6969)0111
ボバース記念病院
☎06(6962)3131
森之宮クリニック(PET画像診断センター)
☎06(6981)9600
帝国ホテルクリニック(人間ドック)
☎06(6881)4000
大道クリニック(人工透析)
☎06(6961)5151
介護老人保健施設グリーンライフ
☎06(6965)0666
訪問看護ステーションおおみち
☎06(6967)1123
訪問看護ステーション東成おおみち
☎06(6977)8680
ケアプランセンター城東おおみち
☎06(6964)5285
ケアプランセンター東成おおみち
☎06(4259)5311
東中浜ケアプランセンター
☎06(6962)3777
レンタルケアおおみち
☎06(6967)6250

■社会福祉法人山水学園

特別養護老人ホームサンローズオオサカ
☎06(6974)7388
東成山水学園(保育園)
☎06(6974)7377